

境港市固定資産評価審査委員会 会議録

【日 時】令和2年8月27日（木）午後1時30分～午後2時

【場 所】境港市役所本庁舎 第1会議室

【出席者】

（委員）渡邊俊裕委員、川田一郎委員、松本雅人委員
（事務局）総務課 渡辺課長、門脇行政係長、渡辺主任
（説明者）税務課 片岡課長、池淵固定資産税係長

【会議内容】

1 開会（渡邊委員長） 《1時30分》

固定資産評価審査委員会は、中立的・専門的な立場から固定資産の価格についての不服を審査いただくため、地方税法により設置が義務付けられた委員会でございます。

本日は、委員長の任期満了に伴う選任と併せ、固定資産税の状況説明等を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

2 委員長の互選

委員による互選により、渡邊俊裕委員が委員長に選出された。

3 職務代理者の指名

委員長により、川田一郎委員が職務代理者に指名された。

4 報告事項（固定資産税の状況について）

（1） 令和2年度は、委員会に対しての審査申出はございませんでした。
そのため、本日は税務課より、固定資産税の状況について説明があります。

（2） 池淵固定資産税係長より別添資料に沿って固定資産税の状況を説明

ア 縦覧期間中の閲覧、問い合わせの状況について

縦覧期間は、令和2年4月1日から6月1日

縦覧者2名・閲覧者67名。縦覧及び閲覧者以外の、今年度の評価内容に関する問い合わせへの対応は、来庁14件・電話14件。

イ 固定資産税の評価状況について

（ア）土地 全体で前年比▲0.46%

宅地について地価下落に伴う時点修正を実施

鑑定ポイントにおける平均下落率は、前年に比べ緩やかになった

（イ）家屋 既存家屋は評価替え第三年度のため据置

新增築家屋は、木造・非木造とも前年比増

減失家屋も、木造・非木造とも前年比増

新增築家屋の増加分が減失家屋の減額分を上回ったため評価額が増

(3) 質疑応答

(渡邊委員) 滅失家屋の主な原因は何か。老朽化なのか。

(税務課) はっきりしないが、建て替えが主な原因ではないかと思う。

(渡邊委員) 滅失なら税収が上がるのではないか。

(川田委員) 影響が出るのは、翌年度からになるのでは。

(渡邊委員) 新增築家屋の非木造の増加要因は。

(税務課) 1,000 m²以上の案件が6件あり、大きいスーパーや福祉施設などの新設があったため、棟数、床面積等が増加となっている。

(川田委員) 新增築家屋の木造の増加要因は。

(税務課) 去年の消費税増税前の駆け込みがあったのではないかと推測している。

(渡邊委員) 新增築家屋の木造で夕日ヶ丘が約10%とあったが、定借の区画の状況は。

(税務課) 38区画残っている。2丁目は無くなり、1丁目に残っている。

(渡邊委員) 特定建物の担当はどの課か。また、件数はどのくらいか。

(税務課) 都市整備課で、件数は700～800件、うち危険家屋は30数件ある。

5 山陰都市固定資産評価審査委員会連合会定例会について

今年度は、本市が当番市で、本市で定例会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、書面審議で会議を行うこととなった。今日は、事務局から提出議案の報告がある。

(事務局) 議案については、①定例会の本年度の表彰者、②定例会の令和3年度の開催市(当番市)の2件で、表彰者5名は在職年数の確認を行い適正、令和3年度の開催市は順番通りとなる。

6 閉会 《2時》